

教育と療育を繋ぐ、放課後等デイ・児童発達支援
～くらしの力を育てる療育～

湧気自然塾だより N060

勝田郡奈義町荒内西1050-7 R.7.1.22
TEL 0868-20-1755 FAX 0868-20-1766

すべての子ども達に豊かな育みを！！

子ども達の抱える様々な課題に挑戦しています

発達障害、不登校傾向、学力不振、コミュニケーション力の育成等々…、ご相談ください。

今年 は 「巳年」

奈義の民話「さんぶたろう」で新年をおかえました。



本塾では、毎年、干支を題材にした絵画に取り組んでいます。今年の干支である「巳」を、昨年末みんなで協力して描きました。「巳」は、十二支の6番目に数えられている動物で「蛇」のことです。「蛇」と言えば、奈義町ではみんなが知っている民話「さんぶたろう（三歩太郎）」があります。蛇の子どもで生まれた太郎が、京都まで三歩で行くような大

男になり、みんなの為にとても役立つことをたくさんしたというお話です。太郎が亡くなった後も、地域に多くゆかりの場所が残り、今でも語り継がれていますね。子どもたちは、読み聞かせの方から「三歩太郎」のお話を聞いた後、イメージをふくらませ、ボードに描かれた下絵の上にペットボトルキャップを貼り付ける作業をしました。太郎と蛇の体がうまく表現できるように、キャップの色を友達やスタッフと話し合いながら選びました。塾を利用する子どもたち全員の作品となるように、キャップを貼る箇所を分担しながら、数日かけて少しずついいいに進めました。完成した絵は、年賀状で多くの皆さんに見ていただきました。

就労継続支援B型事業所より

キクイモを出荷しています

昨年12月から始まったキクイモ（菊芋）の出荷が今、最盛期を迎えています。夏にはヒマワリのような花が咲き、土中に奈義で採れる化石「ピカリア」に似た形のイモがたくさんつきます。近くのスーパーや商店で売られているのはあまり見ませんが、高血圧症や糖尿病の予防等の効能がある健康食品で、甘酢和え、きんぴら、チップス等でおしく食べることができます。

収穫作業では利用者の皆さんが、鍬やスコップで土を掘り返し、真っ白なキクイモを掘り出しています。一本の株にたくさんのイモがついているので、傷つけないように注意を払って収穫しています。頑張って収穫したキクイモは、山菜村、どんどん市場、彩菜茶屋で販売しています。

注文も受け付けており、1袋（500g）を250円で販売しています。どうぞお買い求めください。



訓練！訓練！「火災発生！！避難しましょう」



塾で火災が発生したという想定をし、避難訓練を行いました。スタッフの指示をよく聴き、「おはしも」(おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない)の約束を守り、第一避難場所である塾の前の駐車場に落ち着いて避難できました。地震や大雨などの自然災害へ備えながら、子どもたちの安全に対する意識が高まるように、今後も定期的に訓練を実施します。

青空に強風に乗って飛んだぞ！「手作り和だこ」



年末に作った和凧。強い風に乗って晴天の大空へ舞い上がりました。手持ち糸を全部伸ばしてとても高く上がった凧もありました。みんなが一生懸命手作りしたことへの風のご褒美です。

「しいたけ」がなりました



エンジョイタイム「木で遊ぼう」で、子ども達がこまを打ち込んだしいたけが立派な実をとってもたくさんつけました。自然の営みってすごいですね。

「とんど焼き」からの学び



皆木地区の中山田の畑で、とんど焼きをしました。とんどは日本古来の風習で「左義長」とも言われ各地で行われています。とんどはたき火を伴います。いつもお世話になっている講師の方から、とんど焼きの云われやたき火の仕方、火が燃える仕組みについてお話を聞き、みんなで協力してたき火をしました。火は人間にとって無くてはならない大切な物、そして、恐ろしいものでもあることを知ることも大事な学習です。とんどのたき火で正月のお飾りを燃やし、神様への感謝を表しお餅や芋を焼いて食べて楽しみました。できた炭を、おでこにつけてもらいながら、今年一年の無事や健康を祈る等、とんどと、たき火の体験から多くのことを学ぶことができました。

《2月エンジョイタイムスケジュール・昼食献立》

2月1日(土)	2月8日(土)	2月15日(土)	2月22日(土)
読み聞かせ	絵手紙	昔話語り冬の公演・習字	工作(ペン立て)
ナポリタン	豆腐ハンバーグ	三色丼	肉じゃが

※子ども達にいろんな体験とお楽しみを準備しています。通常のご利用以外に、1日(あるいは、その時間だけでも)、参加をご希望の方は、あらかじめご連絡をください。

※上記のメニューにより昼食作り体験を予定しています。利用日には、エプロン、はし、スプーンの準備をお願いします。